

令和8年度(2026年度)

# 進路だより

未来を切り拓く たくましく 心やさしい 子どもたちへ

札幌市立真栄中学校

第5号

令和8年(2026年)4月17日

## ★第1回進路希望調査から★

進路希望調査には、御質問等も御記入いただきました。ありがとうございました。以下の内容について、すべての御家庭と共有させていただきます。

- ・まだ進路について、各高校の情報について、よくわかりません。
- ・各上級学校について掲載された冊子がほしいです。何もわかりません。
  - 進級直後に突然、第1回進路希望調査を実施いたしました。どうか御理解をいただけましたら幸いです。「未定」で結構でした、という意味ではありません。正式学校名を列挙した書面を御覧いただくだけでも意味のあることだと思います。例えば、「真栄高校」ではなく、「北海道札幌真栄高等学校」なのです。まずは、3年生の皆さんにとって、進路選択に向けて意識を高めるきっかけとしてほしかった今回の調査です。
  - 5月25日(月)からの「教育相談」は、進路相談が中心となります。その席で、学級担任と、具体的な学校名が初めて話題になる、ということでもまったく遅くありません。大丈夫です。
  - 6月下旬に行います第2回進路希望調査までは「未定」でも構いません。7月10日(金)から始まります期末懇談では、学級担任よりかなり具体的な話をさせていただきます。9月下旬に行います第3回進路希望調査以降は、「未定」ではなく具体的内容の御記入をお願いいたします。
  - 現高校1年生の先輩が使用していた受験情報誌を教室に置いています。3年生の皆さん、自由に閲覧し、積極的に情報を収集してください。もちろん、現中学校3年生用の情報誌が7月と10月に発売されましたら、教室に届けます。また、すべての高校等で公式Webサイトを開設しています。興味がある学校のWebサイトを普段から見る習慣をつけてほしいと願います。進路だよりへの掲載よりも早く、学校説明会等の情報をキャッチすることもできると思います。
  - デジタルデータ隆盛の時代ですが、読み応えのある、札幌圏のほとんどの上級学校が掲載された『進路のしおり』という280頁超の冊子を、6月下旬に3年生全員へ配付予定です。今しばらくお待ちください。
  - 4月24日(金)、学年PTA集会にて、係より、1年間の流れ等、進路選択全般に関する話をさせていただきます。資料は後日、本校Webサイトに掲載されますので、是非ご覧ください。

- ・私立高校の合格の目安や、学科・コースの特徴がよくわかりません。
  - ランクと当日点との相関で合否が決まる公立高校に比べて、私立高校の合格の目安は、少しわかりづらいかもしれません。それがなぜなのかは学年PTA集会や、7月6日(月)開催の進路説明会で説明いたします。是非御参加ください。
  - 実は、前述の先輩が使用していた受験情報誌に、各私立高校の合格の目安が掲載されています。積極的に情報収集してほしいと願います。
  - 各私立高校のWebサイトですが、来春の入試に関する記事や合格の目安等がまだ掲載されない時期です。推薦入試の方法等も掲載された、今春の入試の「募集要項」は、札幌圏の高校すべてを保管しています。貸与できますので、係へお声がけください。
  - 授業料の助成など、国の修学支援が充実してきたことによって、私立高校の人気の高まっています。そのため、合格の目安が上昇(難化)する私立高校があるかもしれません。最新情報を入手しましたら、進路説明会や教育相談、期末懇談などを通じて提供いたします。
- ・公立高校自己推薦入試の受検を考えています。
  - 6月下旬に、来春の公立高校入試の詳細が公表されます。それを受けて進路説明会を開催いたしますので、是非御参加ください。
- ・受験生として、家庭学習が不足しており不安です。
- ・この時期からできる準備は何でしょうか。
  - 受験勉強は志望校に合格するための勉強、と考えがちですが、高校生になっても毎日学習を積み重ねる訳でして、充実した高校生活を送るための基盤を作るのが受験勉強であり、毎日の授業である、という感覚をもつことが肝要だと思います。特技や趣味、自身で興味・関心があることを通じてだけではなく、学問を修めることでも自分を磨く、という考え方を大切にしたいものです。ランクアップのための学習ではなく、目的意識をもって意欲的に学習することで自然と…。3年生の皆さんには、時間を大切に日々過ごしてほしいと願っています。
- ・公立高校の良さ、私立高校の良さとは何でしょうか。
  - それぞれに良さがあると思います。答えになっていないかもしれませんが、学校説明会(オープンキャンパスや体験入学等、名称は様々です)やフェア等に積極的に参加してほしいです。実際に上級学校の校舎に立ち入ることで、初めて見えてくるものがあるはずですよ。
- ・ギリギリでの合格、余裕をもって合格、のどちらがよいのでしょうか。入学後の授業についていくことができるか、にも関わってくると思いますので。
  - 中学校は、公立高校は御家庭で決断した高校へ、私立高校は確実に合格が見込める高校へ出願することをアドバイスします。進路相談を進めていくなかで、このようなお気持ちに対しての具体的なアドバイスもさせていただきます。よろしく願い申し上げます。